

「第15回全国水産・海洋高等学校食品技能コンテストに参加して」

京都府立海洋高等学校

海洋資源科食品経済コース3年 梅垣 剛志

私は、今年度の全国水産・海洋高等学校食品技能コンテストに参加することができて、とても良かったと思っています。本番に向けての練習や東京海洋大学でのコンテスト、他の水産・海洋高等学校で学ぶ生徒との交流等がとても有意義な経験だったからです。これも、準備や指導をしていただいた先生方やコンテストに関わっておられる全ての方々のお陰です。本当にありがとうございました。

反省としては、まだ筆記の復習や実技の練習が不十分でベストを尽くせなかったことです。今後の学習において、この課題を克服し、専門性をさらに深めたいと思います。最後まで説明を聞かず間違えてしまう場面もありましたが、失敗しても落ち着いてやり直すことができました。緊張や焦りをあまり感じなかったのも、本校食品経済コースでの実習や活動を始め、さまざまな体験を通して、臨機応変に対応する力が身に付いていたからだと思います。

学びたいことが勉強できる恵まれた環境に感謝し、座学や実習により積極的に取り組みたいと思います。先生方の御指導により、いろいろな点で成長できたと実感し、海洋高校に入学して良かったと、改めて思いました。

今回の食品技能コンテストを通して、自分がどのように食と関わり、どんな進路に進むか再確認することができました。私は上級学校に進学し、食品製造・衛生管理の知識や技術をしっかりと身に付け、「食品衛生監視員」のような、食品の安全に関わる職業に就きたいと考えています。

後輩には、練習と勉強を重ね、両部門でより高いレベルを目指してほしいと思います。1つ1つの動作を大きくキビキビとし、自信を持って臨めば良い結果が期待できると思います。また、このような貴重な体験ができることに感謝し、心から楽しんでください。